

(1) 総合計画・総合戦略の進行管理について

方向性	長期的かつ計画的な行政運営を推進するため策定した「第5次枚方市総合計画」や、平成30年3月に新規事業や重要業績評価指標を追加した「枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進に向けて、施策評価制度等による進行管理を行うとともに、さらなる実行性の確保に取り組みます。
取り組み	計画や戦略に掲げる施策を着実に進めるため、外部評価員などからの意見・提案を取り入れながら検証・評価を行い、必要に応じて次年度事業の改善・見直しを行うことで計画の実行性を高めていきます。加えて、施策評価が定住促進に資する効果的な政策形成に結びつくよう、施策評価と事務事業実績測定に関連性の強化や、より適切な評価指標の設定へ向けた研究を進めます。 ≪目標値≫（平成31年度）本市への定住意向を示す市民の割合：90.1% 本市を住みよいと感じる市民の割合：81.5% 平成30年度当初予算：330千円

9月末の
進捗状況
【〇】

前年度に実施した主要事業の実績や、施策指標の推移について、8月に外部評価員による意見・提案等をいただきながら検証・評価を行い、9月に施策評価の結果をホームページにて公表しました。

引き続き、施策評価と事務事業実績測定に関連性の強化や、より適切な評価指標の設定へ向けた研究を進めます。

(2) ひらかたポイント事業

方向性	市民・事業者等あらゆる主体との協働による、効率的・効果的な行政サービスの提供が求められている中、市の実施事業等へ参画した市民にポイントを付与し、市民の参画意欲の向上を図ることで、市民のまちづくりへの関心を高め、本市への愛着を深めるとともに、本市の魅力向上、地域経済の活性化につなげます。
取り組み	市が実施する市民の健康づくりの推進、高齢者の外出支援促進、ボランティア活動の活性化などにつながる事業に対し、ポイントを付与するとともに、協力店舗からもポイントを付与できる事業について、平成31年1月から運用を開始します。 ≪目標値≫（平成31年度） カード保有者数 100,000人 平成30年度当初予算：23,381千円

9月末の 進捗状況 【〇】	<p>ポイント付与事業については、平成31年1月の運用開始時から対象となる事業を選定しました。</p> <p>運営の委託事業者については、公募型プロポーザル方式により選定した最優秀提案者と8月下旬に委託契約を締結し、平成31年1月からの運用開始に向けて、準備を進めています。</p> <p>ポイントの利用先となる協力店舗については、11月からの募集開始に向けて、委託事業者と調整を進めていくとともに、交通機関においてもポイントを利用できるよう、関係団体と引き続き協議を行っていきます。</p>
------------------------------	--

(3) シティプロモーションの推進及びまちの魅力向上に係るマーケティング	
方向性	<p>本市の魅力・知名度の向上やシビックプライドの醸成を図り、定住促進・人口誘導につなげるため、市民や大学、企業等との連携強化を目的としたプラットフォームを構築するとともに、民間事業者等の知見を活用し、新たな施策を企画・立案するなど、全体的・効果的なシティプロモーションの具体化に向けた取り組みを推進します。</p>
取り組み	<p>①シティプロモーション推進プラットフォームの構築 市政への市民参加の機会拡充と、企業・大学等との連携強化を図るため、シティプロモーション推進プラットフォームを構築し、行政課題を共有するとともに、新たな施策の創出につなげます。</p> <p>②シティプロモーション推進業務委託の実施 本市の人口動態やアンケート結果等の分析も踏まえ、民間事業者の知見を活用し、定住促進・人口誘導につながる効果的なシティプロモーションを推進します。</p> <p>③マーケティングに関する外部有識者からの意見聴取 マーケティング技術を踏まえた多角な視点から市政への助言を受けるため、外部有識者からの意見聴取を行います。</p> <p>④ひらかたプロデューサーズの運用 枚方を愛する『ひらかたプロデューサーズ』に、SNSを通じて本市の魅力情報を発信していただき、知名度の向上とシビックプライドの醸成を図ります。</p> <p>《目標値》（平成31年度まで） シティプロモーション推進プラットフォームで実施した取り組みの件数：10件 ひらかたプロデューサーズの登録数：150件</p> <p>平成30年度当初予算：10,100千円</p>

<p>9月末の 進捗状況 【災害対応に より遅れあり】</p>	<p>公民連携によるシティプロモーション推進プラットフォームの構築とともに、市内小学校6年生を対象とした「まちを考えるアンケート」など、効果的なシティプロモーションにつながる取り組みを、外部有識者からの助言を踏まえながら進めています。ひらかたプロデューサーズには魅力をともに高めるためのミーティングへの参加や、SNSでの枚方の魅力発信を行っていただいています。</p>
--	--

(4) ふるさと寄附金の推進	
方向性	<p>返礼品の拡充や市ホームページ等による効果的な情報発信に加え、本来の趣旨である本市の取組みに共感し、寄附をしていただける取組みを推進することで、さらなる財源確保及び地域産業の活性化を目指します。また、寄附者とのつながりを保つことで、住民でなくとも、本市に関心・愛着を持つ、いわゆる関係人口の増加を図ります。</p>
取り組み	<p>本市の取組みに共感し、寄附をしていただけるように、寄附金の使い道や本市情報の効果的な発信、およびPR大使による体験型など魅力ある返礼品の拡充に取り組みます。また、ガバメントクラウドファンディングの導入など寄附者の裾野を拡大するための新たな取り組みの検討を進めます。</p> <p>《目標値》</p> <p>寄附額：2億円</p> <p>返礼品の新規追加数 40点</p> <p>平成30年度当初予算：200,000千円（歳入合計）</p>

<p>9月末の 進捗状況 【△】</p>	<p>PR大使のたけうちひろさんによる切り絵教室を体験型返礼品として追加しました。そのほかにもダイレクトメールの送付や新たな返礼品の追加により、寄附額の増加を図る取り組みを進める予定でしたが、総務省から平成30年9月11日付でふるさと納税に係る返礼品の見直し要請があり、返礼品の適切な見直しが急務となっています。</p>
-------------------------------------	--

(5) ワークプレイス改革の推進	
方向性	<p>全庁的な能率向上に関する取り組みを実践することで、人的・時間的リソースを捻出し、本来的業務に集中できる環境づくりや知識の共有化など、効率的な行政運営を通じた市民サービスの向上とワーク・ライフ・バランスの推進につなげることを目的として、「ワークプレイス改革」を実施します。</p>
取り組み	<p>平成30年4月に庁内の中堅職員によるワークプレイス改革検討チーム員がまとめた「マイカタブラン～わたしの働き方かわります」の報告を踏まえ、「会議のあり方の見直し」「職員相互の応援制度（人材バンク）の構築」「業務のスリム化」「ライフの充実」の4つを柱とした「ワークプレイス改革」に取り組みます。</p>

9月末の 進捗状況 【○】	「ワークプレイス改革の実践ルール」を庁内に周知し、本部会議や庁内委員会の見直し、ペーパーレス会議の導入などの取り組みを順次実施しています。今後、実施状況のアンケート調査結果等を踏まえ、庁内のより一層の周知を図るとともに、職場の実情に合わせて取り組みを推進していきます。
------------------------------	--

(6) 民間活力（窓口業務委託等）の活用推進	
方向性	民間の持つ豊富な知識や経験の活用を図れるものや民間に委ねた方がより効率的・効果的な業務について、行政の役割と責任、市民サービスやコスト面への影響や、行政としてのノウハウの蓄積・継承等の観点を踏まえ、民間活力の推進に向けた検討を行ないます。
取り組み	民間活力を活用する対象業務や、アウトソーシングを行うにあたっての検討手法・手順など導入に向けた検討を進めます。

9月末の 進捗状況 【○】	業務の効率化、委託化を検討するにあたっての材料として、各業務の業務フローを作成しました。今後は、民間の知見も取り入れつつ、業務フローを活用した検討を行い、アウトソーシング化等に係る考え方をまとめます。
------------------------------	--